

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2026年03月16日

事業所名：放課後等デイサービス スマイルリズム

対象人数（保護者）48人 回答者数 28人 回収 58.3%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	3		1		
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1		5	先生の人数が現在、何人いらっしゃるのか分からない為。	職員の配置数について「わからない」「どちらともいえない」というご意見をいただき、日々のご案内の中で職員数や役割を十分にお伝えできていないことが分かりました。当事業所では、定員10名に対して支援にあたる職員を常時2名以上配置しており、国の基準を満たした体制で支援を行っています。今後は、ご質問をいただいた際には職員体制について丁寧にご説明するとともに、日頃から職員数や役割が分かりやすいご案内に努めてまいります。
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	5		3		活動ごとに部屋を分けるとともに、端的で明瞭な口頭説明に加え、ホワイトボードや絵カード等を用いた視覚的伝達を行っています。また、動線の工夫や感覚刺激量の調整など、障害特性に応じた環境配慮にも取り組んでいます。今後は、提供記録や面談、SNS等を通じてこうした工夫を分かりやすくお伝えするとともに、いただいたご意見を踏まえ、お子様にとってさらに安心して過ごせる環境となるよう見直し・改善を進めてまいります。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	1		1		
適切な支援の提供	⑤ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	1	1		専門職の先生がいてほしい。 (言語聴覚士・理学療法士・作業療法士)など。	こどもの特性に応じた専門的な支援について、『どちらでもない』『いいえ』とのご意見や、『言語聴覚士・理学療法士・作業療法士などの専門職の先生がいてほしい』というご要望をいただきました。当事業所では、保育士・児童指導員などの専門資格を持つ職員が日々の療育・支援を行うとともに、理学療法士が週1回勤務し、身体の使い方や運動発達な

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
							<p>どについて専門的な評価・助言を行っています。</p> <p>理学療法士が不在の日も、事前に共有した情報や助言に基づき、職員間で連携しながら支援内容を検討・実践することで、お子さま一人ひとりの特性に応じた支援が継続できるよう努めています。</p> <p>今後も、ご意見を踏まえ、理学療法士による月1回程度の職員研修や日々の助言を通して職員全体の専門性向上を図りつつ、他の療法士の募集も進めて、より専門性のある支援体制の充実に努めてまいります。</p>
⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28					
⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28					
⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	1		1		
⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28					
⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1		1		
⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	8	5	8	<p>必要性を感じません 特に無くても大丈夫です</p>	<p>地域の放課後児童クラブや児童館、他の子どもとの交流機会について、「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」とのご回答が多く、交流機会が十分に伝わっていないこと、また「必要性を感じない」「特になくても大丈夫」とのニーズの違いがあることが分かりました。</p> <p>当事業所では日常的な交流はまだ十分とは言えませんが、施設のお祭り・バザー、他事業所との交流機会を通じて近隣住民との交流を図り、「共生・インク</p>

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
							ルージョン」を大切に 取り組んでおります。 今後も、ご意見を踏ま え、放課後児童クラブ 等との交流を積極的に 模索しつつ、保護者の 皆様のご意向を伺いな がら適切な交流機会 の充実を図ってまいり ます。
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際 に、運営規程、支援プ ログラム、利用者負担 等について丁寧な説明 がありましたか。	25	3			
	⑬	「放課後等デイサー ビス計画」を示しなが ら、支援内容の説明が なされましたか。	28				
	⑭	事業所では、家族に対 して家族支援プログラ ム(ペアレント・トレ ーニング等)や家族等も参 加できる研修会や情報 提供の機会等が行われ ていますか。	12	5	1	10	定期的な家族研修や計 画的な情報提供はまだ 十分とは言えません。 その一方、家族支援加 算に基づく個別相談を 適宜受け付けており、 ご来所での対面相談に 加えオンライン対応も 整えて、保護者皆様 のお悩みやご質問に対 し丁寧な助言・情報提 供を行っています。 今後も、ご意見を踏ま え相談体制の周知を徹 底するとともに、ニー ズに応じた家族支援の 機会を充実させ、子育 ての不安解消や家族全 体の支援に積極的に取 り組んでまいります。
	⑮	日頃からこどもの状況 を保護者と伝え合い、 こどもの健康や発達の 状況について共通理解 ができていると思いま すか。	24	3		1	
	⑯	定期的に、面談や子育 てに関する助言等の支 援が行われています か。	28				
	⑰	事業所の職員から共感 的に支援をされている と思えますか。	25	3			
	⑱	父母の会の活動の支援 や、保護者会等の開催 等により、保護者同士 の交流の機会が設けら れるなど、家族への支 援がされているか。ま た、きょうだい向けの イベントの開催等によ り、きょうだい同士の 交流の機会が設けられ るなど、きょうだいへ の支援がされています か。	6	5	4	13	保護者会等の開催はま だ十分とは言えませ んが、スマイル祭り・バ ザーを通じてご家族様 の来所機会を設け、保 護者様同士のお顔の見 える交流やつぎよう だい様にとっても楽し い時間を提供する場づ くりに取り組んでおり ます。 今後も、ご意見を踏ま え保護者会等の開催を 検討するとともに、お 祭り等の機会を充実さ せ、保護者様同士・ご きょうだい様同士の交 流が自然に生まれる支 援体制を整えてまいり ます。
	⑲	こどもや家族からの相 談や申入れについて、	24	4			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						
	⑳ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1				
	㉑ 定期的に通信や保護者アプリ・ホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27			1		ホームページ、SNS、HUG等を活用し、毎月の予定や活動の概要、各マニュアル、自己評価結果の公表等を行っております。お子様や保護者の皆様に事業所の取り組みをリアルタイムでご覧いただけるよう、積極的に情報を更新・発信しております。 今後も、ご意見を踏まえ発信内容の充実やHUGの活用促進を図るとともに、保護者の皆様のご利用状況を伺いながら、より見やすく分かりやすい情報提供の改善に努めてまいります。
	㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	1				
非常時等の対応	㉓ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25			3		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、HUGの活動記録上で年に1～2回の頻度で公開しております。また、法令に基づいた頻度で訓練を毎年実施し、実際の対応力の向上に努めています。 今後も、ご意見を踏まえマニュアルの公開頻度を増やすとともに、面談やSNS等で内容を分かりやすくご案内し、保護者の皆様に安心をお届けできる体制を強化してまいります。
	㉔ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23			5		当事業所では、主に土曜日や祝日の活動日において、児童の皆様を含めた消防訓練、地震訓練、不審者対応訓練を定期的実施し、万一の際に迅速かつ安全に行動できる体制整備に取り組んでおります。 今後も、毎月の申し込み期間のご案内にて、訓練の実施日時や内容をお知らせするとともに、提供記録やSNS等で具体的な取り組みをご案内し、保護者の皆様に安心していただけるような体制づく

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
							くりに心がけてまいります。
	②⑤ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	27			1		
	②⑥ 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	23	1		4		<p>事故や怪我、体調不良、その前兆等普段と異なる状況が認められた際には、保護者様に速やかに連絡を入れることを基本としております。緊急時対応マニュアルに基づきつつ、その時々状況に応じた適切な方法で対応し、お子様の安全確保を最優先に取り組んでおります。</p> <p>今後も、ご意見を踏まえ連絡のタイミングや内容をより詳細にお知らせするとともに、保護者面談等で具体的な事例を共有し、安心してご預けいただける体制を強化してまいります。</p>
満足度	②⑦ こどもは安心感をもって通所していますか。	28					
	②⑧ こどもは通所を楽しみにしていますか。	26		2		年齢が上がると共に勉強から逃げたい気持ちが強く、友達と遊びたい!となった為。やりたくないからやらない。は無理だと伝え通所させています。	<p>「楽しむ」ことを大切にしつつ、成功体験の積み重ねを通じて自己有能感を育み、新たな興味の見つけや友達関係・コミュニケーション力の向上を図る支援を意識しています。身辺動作や体の使い方なども含め、多面的なアプローチで、お子さま一人ひとりに合ったプログラムを提供し、通所を楽しみにしていただける施設づくりを心がけております。</p> <p>今後も、ご意見を踏まえ学習と遊びのバランスを工夫するとともに、保護者の方々とお子さまの様子を共有しながら、より一層楽しめる支援の充実を図ってまいります。</p>
	②⑨ 事業所の支援に満足していますか。	26	2				<p>事業所の支援満足度については、「どちらともいえない」とのご回答が2名あり、現状の取り組みが十分に伝わっていない面や、さらなる改善が求められていることを受け止めました。</p> <p>当事業所では、お子さま一人ひとりの特性に応じた支援を提供し、保護者の皆様にも日々様子を丁寧にお伝えすることを基本としておりますが、ご意見を真摯に受け止め、今後もより一層の質の向上に努めてまいります。</p>

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	分からない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
							現状に甘んじることなく、お子様や保護者様が心から満足できる施設を目指し、継続的な改善とご意見の反映に取り組んでまいります。